



北岳からの早朝の富士山

.....目次.....

- ・公益社団法人静岡県造園緑化協会平成27年度定時総会2
- ・平成26年度花と緑の魅力あるまちづくり連絡会議第3回講習会4
- ・みどりのおたより6
- ・東部支部知識技能講習会「土のはなし」8
- ・富士市立大淵第一小学校 樹名板設置、建屋連平成27年度定時総会9
- ・麻機遊水地での緑化支援活動10
- ・山梨県の巨樹を訪ねて11
- ・技士会だより 造園施工管理技士会視察研修12
- ・花と緑の講演会、平成26年度静岡県都市緑化技術研修会13
- ・「災害または事故における応急対策活動の協力に関する協定書」の締結14
- ・花と野鳥15

公益社団法人

静岡県造園緑化協会

平成二十七年定時総会

平成二十七年五月十五日（金）午後三時三十分
から静岡市葵区のグランディエールブテーカーカで
平成二十七年の定時総会を開催しました。



高林会長挨拶

公益法人として今後どのように歩んでいくのか、業界を発展させて若い世代にどのようにバトンを渡すのかを皆で学んでいきたい。



来賓の皆様

県くらし・環境部長	池谷 廣 様
県くらし・環境部理事	志村弘一 様
県交通基盤部森林計画課長	田島章次 様
県企業局理事	西谷 誠 様
県環境ふれあい課長	高尾篤史 様



会長表彰の皆様

有限会社	大東園 様	望月紀志 様
株式会社	望月庭園	杉村清市 様
有限会社	杉村造園	西村信胤 様
株式会社	西村造園	株式会社
有限会社	森荘造園	森 亮二 様



赤池 弘源 副会長開会の言葉



優秀施工者国土交通大臣顕彰
市川造園 株式会社 平野正勝 様
静岡県優秀施工者知事褒章
静岡緑地建設 株式会社 朝比奈 均 様

第一議案

平成二十六年事業報告書及び財務諸表等承認の件

議長の指名により、事務局から、「平成二十七年定時総会」資料に基づき、平成二十六年度における事業報告書、収支計算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等について、説明があり、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決された。



静岡県くらし環境部長 池谷 廣 様 来賓祝辞
地域創生の第1弾として家庭（いえにわ）一体の住まいづくりを進めている。個々の家だけでなく街の風格を保つことも重要だと協会の協力を求めた。

第二号議案

平成二十七年入会金及び年会費の額並びに納入時期及び納入方法決定の件

議長の指名により、事務局から、「平成二十七年定時総会」資料に基づき、第二号議案平成二十七年入会金、年会費の額、納入時期等の説明があり、その承認を求めたところ、満場異議なく承認可決された。



櫻井 淳 副会長閉会の言葉

報告事項

(1)平成二十七年事業計画及び収支予算書について

事務局から、別紙「平成二十七年定時総会」資料に基づき、事業計画及び収支予算書について、報告があった。



総会終了後の懇談会では当協会の技術顧問で元明星大学造形芸術学部教授の柳原八朗先生から近況など挨拶をいただいた。

平成二十六年度 花と緑の魅力ある まちづくり連絡会議 第三回講習会

平成二十七年一月二十八日、静

岡県と当協会の共催による標記講

習会が開催されました。講師は、

東京農業大学地域環境科学部造

園科学科教授の濱野周泰氏です。

午前中は、教育会館大会議室で「街

路樹等の管理の重要性」の座学、

午後は県庁前や駿府城公園で樹木

診断の実習を行いました。参加者

は県・市町緑化担当者、公園管

理者、さくら保護士、当協会の会

員など約八十名でした。



講師の東京農業大学教授の濱野周泰氏

講義では、社会資本としての緑の位置づけについて話されました。

日本では、人の生活にとって緑は

間接的・無意識の存在である。日

常の生活の中になくはならないと

いう意識はない。サクラなど花が咲

いている一週間だけ関心を持たれる

だけで、他の時期は、毛虫や落葉

など迷惑な存在に思われている。



午前中は教育会館で座学

ヨーロッパでは、水河に覆われたことがあるため、緑を大切なものと認識しており、街路樹は灌水などの管理が必要なことを当然のようにわかっている。

日本の街路樹は、電力線、信号

機など空中施設、交通標識、カー

ブミラーなど地上部、舗装、埋設

物など地下施設などと競合しており、空間の奪い合いになっている。

最も大切な根の生育環境が道路基

礎と同じになっている。

管理者は緑の機能だけを期待し



午後は県庁前のケヤキで樹木診断の説明

ており、樹木を生き物として、また、多くの生きものの生活の場であることを考えていない。

適地適木が大切である。近年、

街路樹としての本数が急増してい

るハナミズキはウドンコ病になり

やすい。使い方を考えたし。

「サクラ切る馬鹿」と言われるが、

樹形を整えるために剪定は必要。

切り口の処置をすればよい。小枝

の時は剪定跡が被覆しやすい。

サクラは日当たりのよいところ、

適湿な肥沃土壌を好み、大気汚染

や潮風に弱い。

樹木の個性を熟知して利用す

る。植物四学（分類・形態・生理・

生態）を知って使うことが大事で

ある。

外来種は安易に使わない方が良

いが、厳しい緑化空間では上手に

利用することも必要である。

県庁本館前にて濱野先生から説明を受けた後、十班に分かれ、駿府城公園で樹木診断を行った。

樹木を診断するときは、まず、樹形全体を把握した後に細部を確認することが重要である。

班ごとにあらかじめ選んでおいたイチヨウ、シラカシなどの樹木診断を行い、その結果を発表し、濱野先生から講評をいただいた。



駿府城公園で班に分かれて樹木診断実習

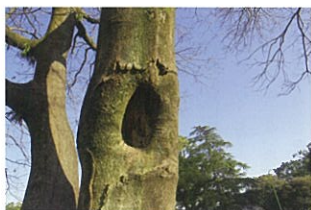
診断では、日照条件、潮風の影響などの生育環境、剪定や施肥など管理状況を把握した上で、樹勢、樹形、枝の伸長などを調べる。また、根元の状況や枯枝、空洞などの有無を確認する。

土が固いなどの理由で地上部に

出たサクラの根には、地上部で呼吸が出来なくなるので、土をかぶ



キノコが生えたツブラジイ



空洞のあるエノキ



一部の枝だけが枯れている

せてはいけない。

質疑応答では、ウメノキゴケの扱いについて、ウメノキゴケは枝の呼吸や新しい枝の光合成を妨げているため、木の生長に悪い影響を与える。薬剤などで除去したほうが良いことを教えていただく。



みどりのおたより

「校庭芝生化に関する提案」

静岡県農林技術研究所（静岡県芝草研究所）

研究主幹 池村嘉晃 Ph.D.

「芝生は文化のパロメーター」と

の言葉を聞くことがあるが、この言葉を聞くことと私の心は穏やかではない。毎朝、車での通勤途中で見える道路沿いの芝生地が多くが荒地と化しているからである。

小学校の校庭や保育園の園庭の芝生化がブームとなつて久しいが、訪問してみると三、四年前の施工にも関わらず、芝生がなくなっている現状を見る。

日本は、芝生自体を理解している人が少なく、施工にはお金をかけるが、芝生化後の管理については、野原を管理するイメージ（＝何もしない）で維持できると考えている人が多い。ここで、芝生化に関する諸問題について述べたい。

1. 管理予算

実際、芝生管理にはいくらかかるのか？ 保育園の園庭などは、芝生化面積が五十㎡前後と小さいので、芝生の維持管理に必要な予算も年間数万円の金額に収まる。しかし、小学校などでは、校庭全面を芝生化させると、園庭の十倍以上の面積になる。よつて、園庭にかかる予算の十倍は必要になる。

2. 施肥量

失敗の原因として、施肥不足の場所が非常に多い。施肥量は、造成一、二年目とその後の維持管理で異なる。維持管理では、バミューダグラスの年間窒素量は三十グラム／㎡必要である。激しく使用さ

れる場所では、擦り切れなどのダメージからの回復を促進させるために更に多くの施肥が必要になる。窒素量にして年間六十グラム／㎡が目安だ。

冬に休眠して茶色くなつてしまふバミューダグラスの常緑を維持するために秋に寒地型芝草を播種する作業（ウィンターオーバーシーディング）をしない場合、全体量の八十五～九十％を春～夏にかけて散布し、残りを秋に散布する。

造成直後は、早急に芝生の活性を上げ、擦り切れに強い芝生を作るために更に多くの施肥をする。造成初年度は、年間必要量の二～三倍の窒素量が必要だ。

3. 刈高と刈り込み頻度

刈高が低い方が見た目に綺麗である。しかし、刈高が低いと擦り切れ耐性に劣るし、より頻繁な刈り込みが必要となる。校庭など激

しく使用される様な場所では、擦り切れからの回復を促進されるように可能な限り高い刈高で管理する方がよい。校庭では刈高五十センチで管理するのが理想となる。また、刈り込み頻度を減らしたいがため、伸びきつた芝生を一気にばつざりと軸刈りする論外な現場も多い。

4. 刈り込み機械の選定

機械の選定を間違っている現場が多い。リール刃は切れ味がよいが、低い刈高でしか刈り込みが出来ない。刈高五十センチで芝生を維持しようと思うと必然的にロータリーモアを使用することになる。

ロータリーモアの場合、適切な刈り込み頻度で刈り込みを行えば、芝生を刈つたときに出る刈カスは細かに粉碎されてしまうので、回収の必要がない。刈カス回収の必要がなくなれば、刈り込み時間の短縮にもなる。刈カスは分解すると芝

生の栄養分にもなるので、肥料の節約にもなり、環境にもエコである。

5. 芝種の選択

校庭・園庭の芝生化では、バミューダグラスのポット苗が主流であり、ティフトン419のポット苗施工で間違いない。一人当たり面積に余裕がある校庭などではノシバ・コウライシバの利用も可能性としては有り得るが、外部利用者がサッカーなどの激しい利用をしたる場合が多いので、利用者数の合計で判断するようにしたい。

当研究所が静岡県西部地域で試験中の保育園においては、バミューダグラスの方がノシバよりも春の芽出しが一ヶ月ほど早く芝生の状態も良い。

6. 土壌改良

校庭や園庭は、透水性を保つために極粗砂や細礫で施工してあ

ることが多い。そのような場所では、土壌改良をしなくても芝生化できる。磐田市の小学校では、競技場からコアリングで抜き取ったバミューダグラスのコアを土壌改良していない校庭に敷き詰める。磐田方式により芝生化に成功している。磐田方式での失敗事例を見たことがないので、ティフトン419を利用する限りにおいて、

大規模な土壌の入れ替えが必要な現場は少ないだろう。

7. 利用方法

失敗の原因は、今まで述べた初期設定に要因することが多いが、芝生の利用方法によるところもある。擦り切れる前に使用場所をローテーションさせるなどして養生すれば芝生は復活するのだが、

使い切ってしまったては復活のしようがない。利用者への芝生の使い方の啓発活動も必要である。

「芝生は文化のバロメーター」との言葉を安心して聞ける日が来ることを願っている。



施肥・養生の不足による失敗事例



再植栽後、施肥・養生の適正管理下での生育状況

東部支部知識技能講習会 「土のはなし」

平成二十七年二月二十七日、ブラサヴェルデ（沼津駅北口）四階会議室において、公益社団法人静岡県造園緑化協会東部支部の知識・技能講習会が開催されました。二十名の会員や従業員の方が参加されました。



講師は（一財）日本土壌協会会長で東大名誉教授の松本 聡氏です。演題は「植物にとって良い土壌とは」でした。

- 植物の生育に適した土壌とは
- ① 通気性、排水性がよく、柔らかな土壌であること
 - ② 肥料成分のバランスが良く、pHが適正であること
 - ③ 有用微生物のエサとなる有機物が含まれ、土壌生物が豊富であること



講師の（一財）日本土壌協会会長で東大名誉教授の松本 聡氏

土性を調べるにはデジタルペーハーメーターや塩分濃度を測るECメーターが便利であるが、小松菜の発芽試験である程度の良否を知ることが出来る。

単粒構造と団粒構造の見分け方は土を握ってみればわかること、土の粘性は親指と中指でこよりを作ってみればわかること、トン袋に落葉、稲わら、米ぬか、生ごみなどを入れてかき回せば、ひと夏で良い堆肥ができることなどを教えていただいた。



桜を植えるポイントとして

① 日当りを好む

よく日が当たり、まわりに障害がない場所を選ぶ。

② 土地を選ぶ

水はけがよく適度に湿り気があり、肥沃な土地を選ぶ。

水はけが悪い場所では暗渠排水を設けるか、盛土をする。

地面が固い場所では、根が伸びることができるよう直径二メートル、深さ〇・七メートルの範囲を開ける。

植える前に完熟たい肥や肥料を施す。

③ 植える間隔

桜は太木になるので、充分な間隔をあければ、健全に育ち、ボリユーム感がでる。

感想

植物が生育するには土壌が大切なことを改めて感じました。

富士市立大淵第一小学校 樹名板設置

平成二十七年三月四日、富士市立大淵第一小学校で樹名板設置式が行われました。校長先生が子供たちに愛校心を持ってもらいたいということで、行われました。

地元のアキヤマ庭園さんは樹木を五十本寄付しました。公益社



生徒たちが作った樹名板

団法人静岡県造園緑化協会、公益財団法人静岡県グリーンバンク、富士地区林業振興対策協議会は樹名板を寄贈しました。樹木名の確認、事前準備等は当協会の副会長の赤池造園さんが実施しました。樹名板は木製の板に樹木名のほか生徒たちによるユニークな絵が添えられており、全部で百四十一本の樹木に設置しました。

(社) 静岡県建設産業団体連合会 平成二十七年定時総会

平成二十七年五月二十九日に静岡市産業交流センター（ヘガサート）で（一社）静岡県建設産業団体連合会 平成27年度定時総会が開催され、高林会長が出席しました。



議事の前に会長表彰があり、当協会からは、永年、造園技術の向上や従業員の労務・厚生改善に努めたほか、後継者の指導育成に努めた（有）正翠園の木村正昭氏、源平造園建設（株）の源平太氏を受賞しました。



木村正昭氏



源平剛士氏(太氏代理)

麻機遊水地での 緑化支援活動

平成二十七年一月二十五日

第三工区で病院や学校、障がい者等と連携して活動に取り組んでいるベーター麻機部会に対し、静岡葵ライオンズクラブが樹木を寄贈し、寄贈式及び植樹作業が行われました。当協会中部支部会員は、植樹作業の指導をしました。



平成二十七年三月七日

アラカシ生垣の植栽を行いました。苗木は静岡トヨベツトから寄贈されたものです。植栽は静岡県造園緑化協会中部支部会員及び古川組が行いました。支柱設置、土壌改良材、苗木の手配等は飯田庭園さんが実施しました。



平成二十七年三月七日

静岡でんかんセンター前の公務員宿舍横のサンゴジュ等の生垣の剪定、除草作業を中部支部会員が実施しました。本来は、静岡農業高校のインターンシップでの作業指導を予定していた箇所ですが、荒天のため中止になり、ボランティアで実施することになりました。



平成二十七年五月十六日

クリーン作戦が開催されたので、当協会の中部支部会員と事務局が参加しました。当日は、朝方まで雨が降っていましたが、開始時刻には止んで予定通り実施できました。たばこの吸い殻、コンビニおにぎりの包装紙、ペットボトル、缶コーヒの空き缶などが見つかりました。



山梨県の巨樹を訪ねて

平成二十七年四月二十二日、静

岡県巨樹と森林文化の会の巨樹探訪会に参加してきました。山梨県北杜市の「山高の神代桜」、「神田の大系桜」、「鳥久保のサイカチ」、荏岐市の「わに塚の桜」、甲斐市の「信玄堤のケヤキ林」の五カ所とサントリーの白州工場の見学でした。サクラはいずれもエドヒガンザクラなので花は残念ながら、終わっていました。花は

洪滞することはありませんでした。



山高の神代桜

推定樹齢千八百から二千年の「山高の神代桜」は国指定の天然記念物で日本三大桜のひとつだそうです。

「神田の大系桜」は樹齢四百年、県指定天然記念物です。エドヒガンザクラの変種で枝垂れです。

「わに塚の桜」は推定樹齢三百年で田んぼの中に立っています。樹勢も良く、樹形も美しく、花の時期に是非、再訪したいと思いました。



神田の大系桜

「鳥久保のサイカチ」は田舎道の四つ角にひっそり立っています。樹齢四百年です。サイカチはマメ科のジャケツイバラの仲間なので鋭い棘が生えていました。

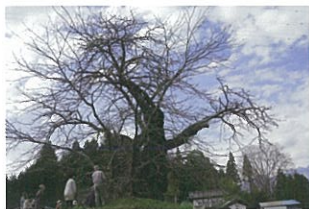
「信玄堤のケヤキ」は最大樹高二十八mの巨木群です。延長二キロメートル、約二十ヘクタールにわたって広がっています。伸び伸びと自然樹形に育ったケヤキ林は必見だと思います。



わに塚の桜



信玄堤のケヤキ



鳥久保のサイカチ

技士会だより 造園施工管理技士会 視察研修

平成二十七年四月十一日、静岡県造園施工管理技士会の視察研修で東京都にある「大手町の森」、「二子玉川公園」、「五島美術館」の庭園を視察してきました。年度はじめにも関わらず、十五社、二十三名が参加しました。



五島美術館前で記念撮影

「大手町の森」

「本物を持ってきた」と言われる森です。木々は整然と並ぶのではなく、ランダムに立ち並んでいます。われわれが知る「緑化」とは違って見えます。新たな都市緑化の可能性を感じました。地被類の種類が豊富で、ニリンソウ、イカリソウ、ヤマブキソウなどの花が咲いていました。写真撮影は禁止されていたので、外からの写真だけです。



「二子玉川公園」中の日本庭園の帰真園

帰真園という名称には、自然に帰帰するという意味が含まれています。日本古来の優れた空間文化を人々に伝えていくことを主題に作庭された回遊式日本庭園です。約五千八百㎡の庭園は、多摩川の源流から本流まで、そして国分寺崖線の丘陵と武蔵野の風景を表現した空間となっています。庭園内は、誰もが快適に散策を楽しめるようユニバーサルデザインの施設です。



「五島美術館」

武蔵野の雑木林が多摩川に向って深く傾斜する庭園には、「大日如来」や「六地藏」など伊豆や長野の鉄道事業の際に引き取った石仏が点在し、「上野毛のコブシ」（東京都指定天然記念物）やツツジ、枝垂桜など、季節ごとに多彩な花を咲かせます。コブシには遅く、ツツジには早いという時期でしたが、モミジの新緑が綺麗でした。



花と緑の講演会

平成二十七年二月十八日（水）、あざれあ大ホールにて、公益財団法人静岡県グリーンバンク主催による「花と緑の講演会」が開催されました。

講演会の前には、（公財）静岡県グリーンバンクの平野孝雄理事長から緑化団体に感謝状が贈呈されました。



塚本こなみ氏



平野孝雄理事長挨拶

講演は「花が育てる人と街」と題して、公益財団法人浜松市花みどり振興財団理事長の塚本こなみ氏が行いました。樹木医として「あしかがフラワーパーク」の大藤を移植した実績や浜名湖花博二〇一四のはままつフラワーパーク会場の責任者として大成功に導いた経緯をユーモアをまじえ、具体的にわかりやすくお話しされました。緑や花の効用、特に花が持つ「チカラ」について力説され、今後は園芸療法を進めていくということでした。

平成二十六年 静岡県 都市緑化技術研修会

平成二十七年二月十三日、静岡県男女共同参画センターにおいて、静岡県公園緑地課・（一社）日本造園建設業協会静岡県支部共催による平成二十六年度静岡県都市緑化技術研修会が開催され、コンサルタント、行政、造園など五十名が参加しました。



内山支部長挨拶

研修会の内容

○造園トビックス（名古屋市の緑化地域制度の展開と課題）（中部支部の造園遺産インベントリーについて）

○浜松市沿岸域の防潮堤整備工事における植栽計画について

○浜名湖花フェスタ二〇二五について
○会員実績報告 バラの丘公園の指定管理者としての運営について



「災害または事故における
応急対策活動の協力に関する
協定書」の締結

当協会はこれまで浜松市と「災害時における
応急対策活動に関する協定書」を結んでいまし
たが、今回、静岡県とも災害協定を結ぶことが
出来ました。

静岡県において大規模な地震、風水害その他
の災害が発生した場合は協力要請に従って応急
活動を行う事となります。



協定書に署名する高林会長

活動の範囲は

- (1)被災状況を写真により報告する
- (2)倒木や災害によって発生する廃棄物の木材等
を破砕すること
- (3)破砕した木材や小量の土砂を仮置き場まで運
搬すること等です。

この協定では応急復旧を業務として実施するの
ではなく、ボランティアで行うというものです。



平成二十七年三月三十日、静岡県交通基盤部
部長室において、災害時の応援協定の調印式を
行いました。式には、交通基盤部野知部長ほか
部長代理ら幹部職員、くらし・環境部大内理事
等が臨席しました。

災害時倒木など処理

県と県道緑化協会が協定

県は先日、県道緑化協会と協定の調印式が加
賀市で開かれ、協定が調印された。県道緑化協
会が、県道沿線の倒木や災害時の応急対策など
について協力を要請する。県道緑化協会は、県
道沿線の倒木や災害時の応急対策などについて
協力を要請する。県道緑化協会は、県道沿線の
倒木や災害時の応急対策などについて協力を要
請する。県道緑化協会は、県道沿線の倒木や災
害時の応急対策などについて協力を要請する。



協定書を取り交わした高林久雄（左）と野知恵祐（右）
調印式は、県道緑化協会と県道緑化協会が協定
調印式は、県道緑化協会と県道緑化協会が協定

花と野鳥



サクラの蜜を吸うヒヨドリ



ウメの蜜を吸うメジロ



ツバキの蜜を吸うメジロ



サクラの花から盗蜜するニュウナイスズメ

花の蜜を吸って、花粉を運ぶ鳥はメジロとヒヨドリが代表です。冬の間、ハチなど虫たちが少ないときにツバキやビワなどの花粉を運ぶ重要な役割を担っています。メジロやヒヨドリの舌はブラシ状になっていて、蜜を吸い取りやすいような構造になっています。

スズメをはじめとする他の鳥は、舌の先に蜜をしみ込ませる構造がありません。蜜をなめたいと思っても、効率よくなる事ができません。花の外から蜜のある萼筒の部分を噛むのです。噛んで、サクラの花をちぎり、蜜をなめて花を落とします。この行動は、花粉を運ばずに蜜だけ得ているという意味で、盗蜜と呼ばれます。

花蜜食の鳥が多いのは熱帯地方で、オーストラリアなどではミツスイの仲間、アフリカから東南アジアにはハナドリやタイヨウチョウの仲間がいます。これらは、くちばしがいずれも細長く、舌の構造が蜜を吸いやすいようになっています。花蜜食に一番特化しているのは、南米などに生息するハチドリです。「ブンブン」とハチと同様の羽音を立てるため、ハチドリと名付けられました。

ホバリングで空中で静止しながら、花の中にクチバシをさしこみ、蜜を吸うという独特の食事の取り方をします。特に、ヤリハシハチドリのクチバシは非常に長く、長い花冠をもつトケイソウの蜜を吸うように共進化してきました。

公益社団法人 静岡県造園緑化協会

会員名	所在地	電話番号	会員名	所在地	電話番号
株愛樹園	東伊豆町	0557-23-0648	加藤造園株	焼津市	054-628-3235
木村造園株	東伊豆町	0557-23-1635	原田造園株	焼津市	054-624-2610
株伊豆急ハウジング	伊東市	0557-53-2166	良知樹園株	焼津市	054-624-1355
株広野園	伊東市	0557-37-3028	南富士造園	焼津市	054-624-4007
株椿源	伊東市	0557-45-0040	南杉造園	焼津市	054-624-4030
藤原造園株	熱海市	0557-81-4240	南樹見園	焼津市	054-624-8941
西村造園株	熱海市	0557-82-7424	株中部緑化建設	焼津市	054-629-1610
南伊豆植物園	伊豆の国市	0558-76-1564	南大石造園	藤枝市	054-643-7282
大島造園土木株静岡営業所	裾野市	055-997-2775	南太陽造園	藤枝市	054-641-4076
株富士見園	長泉町	055-986-6567	紅林造園	藤枝市	054-635-7256
南正翠園	長泉町	055-986-3199	株特種東海フォレスト	島田市	0547-46-1551
株大網造園	御殿場市	0550-83-9767	南岩本造園	吉田町	0548-32-2507
株植正園	沼津市	055-921-0945	南松浦造園	吉田町	0548-32-8887
南緑香苑	沼津市	055-931-0408	株雄樹園	御前崎市	0537-86-2684
株大志建設	沼津市	055-923-1128	田旗造園建設株	掛川市	0537-22-5951
株翠石園	富士市	0545-71-2236	株桔梗庭苑	掛川市	0537-24-5577
南一窓園	富士市	0545-35-0123	株三宝園	掛川市	0537-24-4128
株大松園	富士市	0545-52-5220	南小澤造園	掛川市	0537-22-9052
南常華園	富士市	0545-35-0163	南松月園	森町	0538-48-6431
南翠光園	富士市	0545-36-2020	南山本造園	袋井市	0538-48-6592
株望月庭園	富士市	0545-21-5195	株片桐造園建設	袋井市	0538-48-7884
南やまもと園芸	富士市	0545-38-1958	株ハッ代造園	袋井市	0538-43-4355
天野園芸株	富士市	0545-81-0655	トヨタ緑産 株	袋井市	0538-44-0400
株共立	富士市	0545-85-1213	株庭 仁	磐田市	0538-35-5528
南小林造園	富士宮市	0544-24-4533	株植 勲	磐田市	0538-34-3030
赤池造園株	富士宮市	0544-24-3568	株浮月園	磐田市	0538-38-0529
株佐野緑化	富士宮市	0544-27-2825	南永井造園	磐田市	0538-38-0509
株双葉グリーン	富士宮市	0544-26-3138	南稲垣造園	磐田市	0538-38-1901
株岳陽グリーン	静岡市清水区	054-385-5034	南松島園	磐田市	0538-38-0790
南丸福造園土木	静岡市清水区	054-375-2115	南大東園	磐田市	0538-34-4163
源平造園建設株	静岡市清水区	054-366-5525	株東豊グリーンメンテナンス	磐田市	0538-32-0018
株小澤造園	静岡市清水区	054-353-3774	南昭花園	磐田市	0538-55-3392
駿河緑地造成株	静岡市清水区	054-351-2555	南東海ガーデン	磐田市	0538-32-5025
南森荘造園	静岡市清水区	054-345-3859	株江崎種苗園	浜松市中区	053-471-1727
木下造園株	静岡市清水区	054-334-0757	株庭 明	浜松市中区	053-453-3311
不二見造園土木株	静岡市清水区	054-369-2515	株庭 勲	浜松市中区	053-455-3980
春長園緑化株	静岡市葵区	054-246-7512	みどり園株	浜松市中区	053-456-1165
株ひかり造園	静岡市葵区	054-253-6508	南太陽造園土木	浜松市中区	053-455-4007
株森 造園	静岡市葵区	054-253-4659	株エンター	浜松市中区	053-435-8585
静岡観葉株	静岡市葵区	054-261-2094	株大瀬造園	浜松市東区	053-434-1907
有飯庭園	静岡市葵区	054-245-0513	天龍造園建設株	浜松市東区	053-421-1180
株藤浪造園	静岡市葵区	054-245-9870	赤堀産業株	浜松市東区	053-434-4332
株静岡緑地建設	静岡市駿河区	054-669-9113	大協造園緑化株	浜松市西区	053-592-4500
株理研グリーン	静岡市駿河区	054-283-5555	ナイス緑地株	浜松市西区	053-485-4631
株西野造園	静岡市駿河区	054-283-3131	市川造園株	浜松市南区	053-449-4646
ソーア造園株	静岡市駿河区	054-282-7971	大村造園建設株	浜松市北区	053-437-1128
株小林土木緑化	静岡市駿河区	054-264-6499	五常園株	浜松市浜北区	053-587-4838
株落合造園	静岡市駿河区	054-285-4928	南寿重植木	湖西市	053-579-0736
株静岡グリーンサービス	焼津市	054-624-5593			

私たちは造園・緑化樹木の整備、育成技術の研鑽に努め、

公益法人として、様々な活動を行っています。緑のことお気軽にご相談ください。

- ◎造園・緑化相談など緑への理解を深め親しんでいただく活動
- ◎緑化樹木の整備育成に関する技術研鑽と技術指導支援活動
- ◎災害時の応急復旧活動・東日本大震災では震災直後に大規模での瓦礫処理活動を実施
- ◎高齢者就労のための技術講習支援活動や高校生、大学生のインターンシップ受け入れ
- ◎環境や自然、樹木に関する調査活動や静岡県景観整備機構として景観形成活動

公益社団法人静岡県造園緑化協会

〒420-0031 静岡市葵区呉服町2丁目2番地

TEL 054-253-0586 URL <http://www.midorinotakara.org/>

平成27年8月発行

編集 普及労働委員会

題字 桑松文男氏



公益社団法人 静岡県造園緑化協会は、この「ふじのくに森の町内会」の紙を使うことにより、林地に植えられる間伐材を資源として活用し、静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。